

○関東・中部地方の地震活動

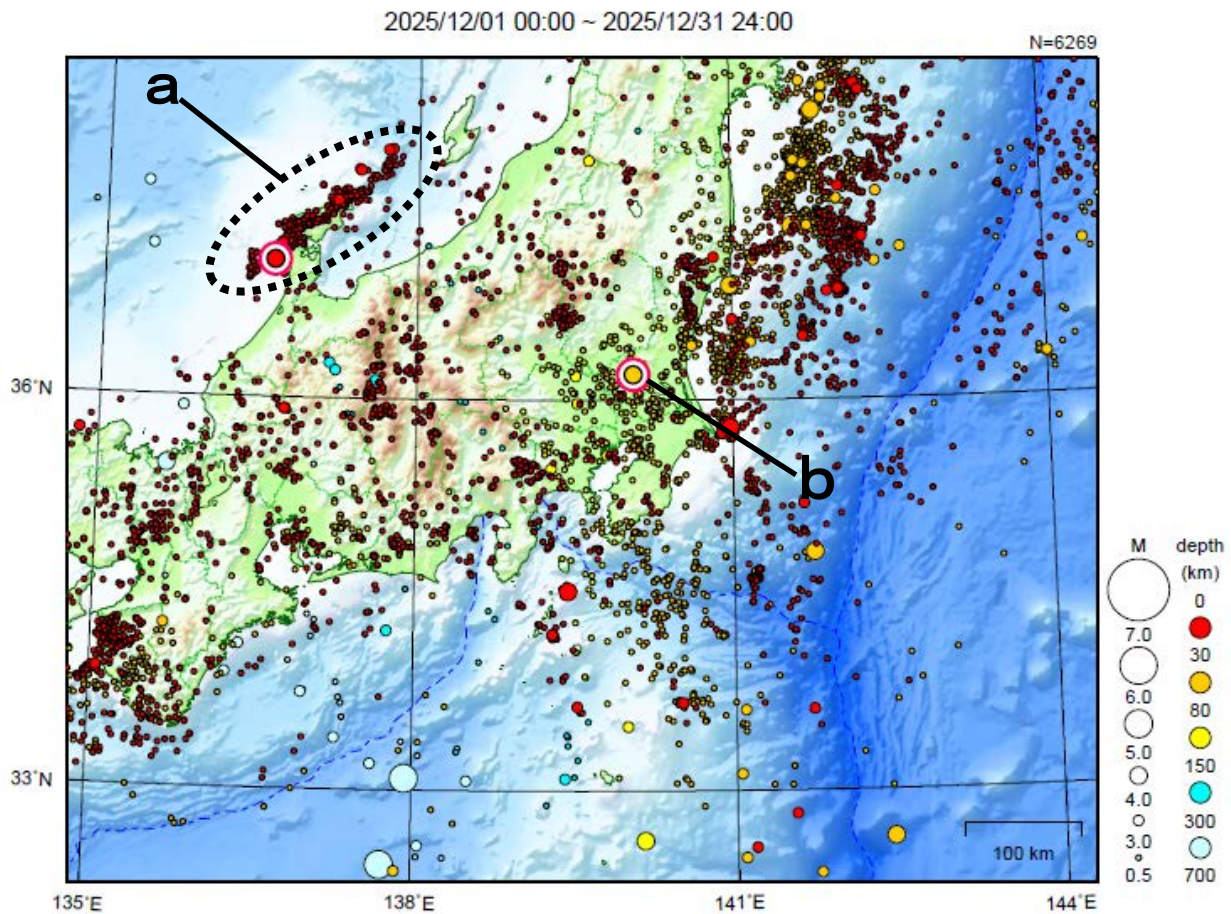


図7 関東・中部地方の震央分布図（2025年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

〔概況〕

12月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は58回（11月は46回）であった。

12月中の主な活動は次のとおりである。

- a 14日23時26分に石川県西方沖の深さ8kmでM4.9の地震が発生した。この地震により石川県志賀町で震度4を観測したほか、北陸地方、長野県、岐阜県及び滋賀県で震度3～1を観測した。「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、12月中に震度1以上を観測した地震が13回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回）発生した（p. 7、16～17参照）。
情報発表に用いた震央地名は〔能登半島沖〕である。
- b 12日19時05分に茨城県南部の深さ52kmでM4.9の地震が発生した。この地震により関東地方で震度4を観測したほか、東北南部、新潟県、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した（p. 7、18参照）。

（図の範囲外）

8日23時15分に青森県東方沖の深さ54kmでM7.5の地震が発生し、青森県八戸市で震度6強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度6弱～1を観測した。また、青森県三八上北で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から関東地方にかけて及び新潟県で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測した。

関東・中部地方では、8日の地震により茨城県常陸太田市で震度4を観測した（p. 69～130参照）。